

イノベーションベンチャーサミット in 清水 15日(木)16日(金)
しずおか新産業技術フェア2009 23日(金)~25日(日)

「要 旨」

1、イノベーションベンチャーサミット in 清水

開催日時・・・平成21年10月15日(13:00~20:30)~16日(9:30~16:00)

出席者・・・第1日目/約180名、第2日目/約100名

1日目 アース研究会(50人) Kansai仕事作りの会(5人)北海道テクノス研究会(5人)

シーズとニーズの会(5人)北見プロジェクト(5人)さぬき知的財産戦略研究会(5人)

しみず新産業開発振興機構(50人)

静岡県立大学(5人)東海大学(5人)

静岡大学(5人)

静岡県・静岡市・しずおか産業創造機構・沼津高等等(10人)

.....
第1日目/事例発表会・研修会・懇親会(東海大学海洋科学博物館 13:00~20:00)

清水駅・商工会議所からバス3台で会場に集合、海洋科学博物館講堂で各研究団体の事例発表と3大学(静大・県立大・東海大)の紹介を行った。18:30からの懇親会は、水族館大水槽を囲み交流を深めた。

帰路は、チャーターの船(貝塚~日の出埠頭)とバスにより移動、おりから帆船日本丸・海王丸が入港、ライトアップされ、水族館と共に遠来の参加者に好評であった。

研究発表:

1)「共同研究のチェックリスト」 吉田国際特許事務所・吉田所長(アース研究会)

民法の共有の原則、特許法の共同研究(特73条)に関する説明があった。大学との共同研究事例の2例(電気通信大・日本大学)と契約時の注意点の紹介。

2)「下請加工からの第二創業 - 企画開発型への変革 -」 シグマ(株)・下中代表殿(アース研究会)
輸送・産業用機器部品の鉄から樹脂加工への変身を目指し、成形技術での精密小物部品の商品で大企業が手を出さない、出せない分野でのトップメーカーが夢。

3)「スパイラルコイル開発経緯」 新和商事(株)・森下社長(Kansai仕事づくりの会)
Kansai仕事づくりの会は東大坂を拠点とし、現況は後継者が少なく不景気である。平成14年、婦人用下着用の部材(アルミ線コイル)技術を、電気機器などの放熱板(ヒートシンク)開発に転換させた開発経緯を紹介した。

4)「産業機械、橋梁・鉄鋼構造物を対象とした複合ワイヤ溶射法による粒子分散型金属複合皮膜作製の開発」 (株)倉本鉄工所・倉本社長(北見プロジェクト)
産業機械・橋梁・鉄鋼構造物等のセラミックス溶射施工には、生産性・長寿命化・作業環境改善のユーザー要求がある。これに対応した新規溶射技術(セラミックスや機能性粉末を内部充填した複合ワイヤ溶射法)の開発。耐食・耐摩耗・耐熱機能向上のほか、光触媒作用も付加出来る容赦技術を開発した。

5)「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く」 北見工業大学・有田教授

北見地域は農業生産中心の地域である。この1次産業強化とその工業化(付加価値増)のための広域連携とその中の北見工業大学の取り組みを紹介した。産学連携体制は、農工商連携のモデル地区を目指して、広域医療と防災を医工連携で、地域の特長を活かす事業化を、第一次産業の工業化を目指す。大学の役割は、地域密着型の学科構成検討、人材育成事業の実施である。

6)「抗菌皮膜の微粉末化とその応用」 寿産業(株)・鈴木副社長(北海道テクノロジールネッサンス研究会) 神戸製鋼所㈱の開発した抗菌皮膜(抗菌性特殊ニッケル合金メッキ技術:kenifine)素材には、抗菌性・防油性がある。このメッキ皮膜を剥離、粉砕し微粉末にしてその用途開発をしている。塗料に混ぜて長靴に塗布(食品関連事業所の抗菌用) 水槽の防かび 抗菌ステックで花瓶の花もち 繊維に練りこみカシート。カーエアコンフィルター等。その他の新用途が見込まれる。

7)「小規模うどん店用排水処理機の開発」 徳武産業(株)・十河代表(さぬき) 香川県内にはうどん店が640軒ありラーメン屋より多い。うで汁の未処理排水が環境問題となり、小規模店も含め排水対策が義務化された。小規模店でも設置可能な下記の課題をクリアーし、東西化学産業㈱が開発、さぬき地財戦略研究会会員が製作。課題条件 駐車場以下のスペース 設置費込で200万円以下 操作容易。通産省近畿経済局「新連携事業」に認定された。

8)「シーズとニーズの会の活動について」 シーズとニーズの会・品川理事 1991年から、商品開発研究と交流を目的。現在約80社が参加。会の精神 それぞれの企業を代表して参画するメンバーがお互いを活用しあう「しごとづくり」の場。参加企業が互恵の精神で相方向は発信、交流で新しい仕事を創出 新規事業開発のころざしが有る事 OPEN MAIND 技術移転を目的とするコンサルタント会社「SNパートナーズ」創設

9)「マグロの陸上養殖プロジェクト」 (株)WHA・廣川執行役員(しみず新事業創出研究会) 東海大学と共同研究している地下水利用の「マグロの陸上養殖」について、利点や事業化構想を紹介した。

10)「ベルチェ素子を使った新冷暖房装置」 大日工業(株)・川瀬社長殿(しみず新事業創出研究会) ベルチェ素子を利用した局所冷暖房装置(環境商品)の開発と、LED照明機器の開発を紹介。

11)「商工会議所が推進する地域振興、産学官連携事業について」 清水商工会議所・赤堀新産業室長 駿河湾地域循環型社会の推進と、新事業の創出プロジェクトの歩みと成果を発表した。植物工場における高付加価値植物の育成、垂流界水抽出、大麦の機能性飲料の製造、アスタキサンチン飲料(美アスタ)、イチゴ炭疽病抑制堆肥、三保地下水を利用した魚介類の陸上養殖、等について紹介した。静岡大学興学長・県立大学木苗学長の挨拶・大学紹介があった。

講評・まとめ(中西会長殿) 今回のサミットの企画は成功だったと思う。新事業振興には情報の共有化が重要。地域を超えたシェイクハンドも必要である。企業から大学まで垣根を取り払った共同研究の成果が出始めている。今後ともに会して、遠慮せずいろいろディスカッションしたい。

第2日目/大学研修会(各大学のシーズ発表:静岡県立大学)工場見学会(日立アプライアンス)

9:30~13:20(県立大学中講堂) 参加100人 工場見学 14:00~15:30 参加 80人
3大学(県立大学・静岡大学・東海大学)から7件のシーズ発表・産学連携取り組みの紹介と、会場入口パネル展示を行った。昼食後、大学の薬草園・周辺名所を2班に分かれて見学した。14:00から日立アプライアンス清水事業所を視察見学し全行程を終了した。

各大学のシーズ発表

- 1)「芳香族フッ素化合物の製造方法および新規化合物」 県立大・薬学部・赤井 周司 教授
人工フッ素化合物は耐熱性、耐薬品性、撥水・撥油性など素材や歯磨き・フライパン・冷蔵庫や市販医薬品・農薬等、身近な用途が多い。フッ素を付けた芳香族化合物の医薬品創製を目指し、多様な生体活性ポリフェノールのフッ素化を検討中である。
- 2)「ペースト状の米を添加して製造した新規米パン」 県立大・食品栄養科学部・貝沼 やす子 教授
新製法による米添加パンの研究。浸漬した玄米を磨砕して米ペーストを作り、そのままパン生地に練り込みパンにする。膨化状態は良好、パン肌が細かく硬くなり難い。柔らかくふわふわ感・噛み切りやすい・ねちねち感が少なく官能検査も良好。
- 3)「高付加価値植物工場：高輝度発光ダイオード(LED)と亜臨界抽出の活用」
県立大 大学院生活健康科学研究科 小林裕和 教授、食品栄養科学部 中山 勉 教授
高輝度LEDを用いて特定植物の機能性成分を増大させる研究を紹介した。また、温州みかん果皮から亜臨界水処理で、果皮中の クリプトサンチンを効率よく抽出する条件の研究を紹介した。
- 4)「静岡大学の光・電子・ナノテク分野と産学連携体制について」 静岡大 木村 雅和 教授
光・電子・ナノテク分野に関する大学としての位置付けと、シーズ事例5件を紹介した。光通信用カメラによる交通事故と渋滞のない未来の交通管制システム 光マニピュレータ複合化ナノマシニングシステム 3次元顕微計測や微細立体加工。回路シミュレータによるMEMS 解析システム 可動ミラアレイによるホログラムメモリ読み出し技術開発、等の説明があった。
- 5)「高齢化・福祉社会を支えるナノバイオテクノロジー」 静岡大 朴 龍珠 教授
製造業・小売業・建築業の雇用は激減しているが、医療・介護・福祉分野は雇用が増加傾向。大学の研究の方向性は、超高齢化対応ナノバイオ科学(高齢化対応機能性食品・食の安全安心・生涯にわたる健康等)を重点研究目標として推進。
- 6)「東海大学における産学連携の取り組み」 東海大 海洋学部 川上 哲太郎 教授
大学の原点、産学連携のポリシー(大学と産業界の協力は不可欠、大学の成果は社会に還元)と体制、イノベーションセンター(産学官の共同研究棟)についての説明と、産学連携事業の事例と実績について紹介があった。
- 7)「地下水を利用した都市近郊陸上養殖研究」 東海大 海洋学部 秋山 信彦 教授
魚種・養殖方法・適した飼料の検討、廃棄物の利用とか安全性の検証について説明があった。飼育用水として三保地下水が如何に優れているか、年中一定の水温、無菌海水、天候に左右されない、都市近郊の立地条件の良さ等。研究中の養殖魚種、飼料、海面と陸上での養殖の比較、事業化の進捗等が紹介された。視察見学会「日立アプライアンス(株)清水事業所」14:00~15:30 バス移動
終了後 遠来の参加者はJR清水駅まで。

3、その他 事務局

- 1) しずおか新産業技術フェア2009 23日(金)~25日(日)
しみず新産業開発振興機構ブース(3ブース)に機構および会員企業が出展した。
場所 ツインメッセ北館
(株)グリーンセイジユ 常温乾燥装置「KONAZO」 DVD映像で説明、パンフレット

- 乾燥品サンプル
- ヤマダユニア㈱ 砂塵粉塵防止剤「エコG」パンフレットとパネル
- 大日工業㈱ LED照明機器（サーチライト、パネル他）ペルチエ素子利用の
冷暖房機器（試作品）
- （有）田島農園 LED利用のスプラウト試験のPR、スプラウト展示メニュー紹介
- しみず新産業開発振興機構 アスタキサンチンドリンク「美アスタ」試飲
- 1) 植物工場シンポジウム「植物工場における環境制御技術と機能性野菜の栽培技術」
27日・28日 東京 森田・赤堀 参加
- 2) テクノサロン静岡2009 28日 グランシップ 白澤・久能 参加
- 3) LEDプロジェクト開始 大日工業㈱川瀬社長が中心になりLED照明機器の実用技術の用途開発を行う。とりあえず大日工業㈱の保有している照明機器をたたき台にする。

4、二渡コーディネーターコメント

10月15・16日の二日間、中西会長が指導されている全国7つの研究会が、清水で合同の研究会を開いた。全国でも初めてという価値あるイベントである。

事務局の献身的な尽力と関係者のご支援と協力によって、大成功であった。

今回のイベントを通じて色々な事を知ることができた。その一つに、清水地域の開発体制の特長がはっきりとなった。それは、産学官の協力体制、特に、大学との連携が他のどこよりも上手くいっていることである。この点は、自信を持って我々のアドバンテージと言ってもよい。中西会長のリーダーシップに深く感謝申し上げる次第である。

一方、問題点もはっきり見えてきた。それは、企業の積極性である。

今後は、今回の結果をもとに推進を図る所存である。成果につなげて、初めて今回のイベントの意義がある。

5、今後の予定

| | 11月 | 12月 | 1月 |
|--------------------|-----|--------------|----------|
| 創出研究会 | 6日 | 未定 | 未定 |
| 産学官交流講演会 (55回沼津高専) | 13日 | (56回静大農) 11日 | (県大) 26日 |
| 駿河湾研究会評価委員会 | | 21日 | |

以上